



カーボンニュートラルに
貢献する

人材育成

カーボンニュートラルに
向けた地域などへの

普及・連携



「カーボンニュートラル推進リーダー育成講座(入門)」の開設

地球規模の環境・社会問題の理解を深め、カーボンニュートラルを推進している大学・企業・自治体等の取組について学び、身近なところからアクションを起こすことができる人材を育成することを目指した新科目を開設しました。

本科目は、2024年度より、正課科目として新設し、全学部(15学部・38学科)・全学年の学生が受講することができます。



日産自動車株式会社でのフィールドワーク
電気自動車の電気をを用いて、家電製品を動かす様子



オープンバッジ(デジタル証明書)

2024年度より、全学部・全学年を対象に、カーボンニュートラルをテーマに体系的な学修ができるプログラムを開設しました。学生は264科目から成る「カーボンニュートラル科目群」から、履修科目を選択し、修了要件を満たすと、カーボンニュートラルサティフィケート(オープンバッジ)を取得することができます。

人材育成詳細ページ



研究推進詳細ページ



カーボンニュートラル研究助成制度

本学のカーボンニュートラルに資する研究活動の促進を目的として、本学の研究者を研究代表者とする研究に対する研究助成金制度「カーボンニュートラル研究助成制度」を2023年度に設立しました。初年度は3件、今年度は4件が採択され、先端的、かつ独創的なCN研究を支援しています。



さらに、2024年度より、学問の垣根を越え、カーボンニュートラルに資する新たな学問分野の開拓を目指して、「カーボンニュートラル文理融合研究スタートアップ助成制度」を創設しました。今後、次に示すセミナーなどを通して、文理融合研究を積極的に促進・支援いたします。



カーボンニュートラル研究セミナーの開催

昨年度、カーボンニュートラル研究助成制度の採択者、および、カーボンニュートラルを専門とする研究者から、最先端の研究をご発表頂きました。本セミナーでは、文理融合研究の実装も目的としており、様々な学問分野の研究をご発表頂きました。また、小金井市に後援して頂くことで、本学の教職員・学生・協定校関係者の参加はもとより、小金井市民の皆様にもご参加頂き、総計58名の皆様と先端的なカーボンニュートラル技術を共有でき、カーボンニュートラルについて深く思索する良き機会となりました。

研究推進

カーボンニュートラルに
貢献する



カーボンニュートラル社会の実現に向けた『実践知』の共創



カーボンニュートラルシンポジウムの開催

「カーボンニュートラル社会の実現に向けた『実践知』の共創」と題してシンポジウムを開催しました。300人以上が来場し、菅元総理の基調講演をはじめ、宮城県名取市の山田市長、日産自動車株式会社の高橋氏、本学総長によるパネルディスカッションなどを行いました。



菅元総理による基調講演

札幌市とのカーボンニュートラルに関する連携協定の締結



左:法政大学 小秋元 段 常務理事・副学長
右:札幌市 秋元 克広 市長

自治体との連携基盤の構築のひとつとして、札幌市と「カーボンニュートラルの実現と持続可能な社会の構築の推進に係る連携協定」を締結しました。札幌市内でのフィールドワーク等の教育プログラムの展開や、札幌市の事業に本学の人材や知見を提供することを目指してゆきます。

普及・連携詳細ページ



脱炭素化詳細ページ



カーボンニュートラル都市ガスの導入

本学では、2023年度より市ヶ谷キャンパスでカーボンニュートラル都市ガスを導入しました。2024年度からは、多摩キャンパス、小金井キャンパスでもカーボンニュートラル都市ガスを導入し、キャンパスにおけるCO₂削減を推進しています。カーボンニュートラル都市ガスの導入により年間1,546t-CO₂のCO₂削減に貢献しています。



グリーン電力証書の取得



本学では、2022年度より東京電力エナジーパートナー株式会社よりグリーン電力証書を購入しています。風力やバイオマスなどで生み出された年間8,732,107kWhの自然エネルギーの維持、普及、拡大に貢献しています。

電力使用量の見える化

本学から排出される温室効果ガスの多くは、電力由来のものであることから、エネルギー・マネジメント・サービスを導入し、キャンパス毎の電力使用量を「見える化」しました。日々の大学生活の中で生じるエネルギーの消費状況を把握することで、学生・教職員一人一人の省エネ・節電に関する意識に訴求し、消費電力量の低減に取り組んでいます。

脱炭素化

カーボンニュートラル
実現のための

